

感動の舞台を再び！ 三島村薪能「俊寛」、待望の始動！



硫黄島は、平家物語に描かれる俊寛僧都が配流された島として、全国にその名が知られます。俊寛にまつわる言い伝えがあり、お盆には「俊寛の送り火」とされる「柱松」の行事が行われるなど、島の人々からも、古くから俊寛さんは親しまれて来ました。村ではその顕彰のため、平成7年5月に俊寛像を建立、翌8年5月には中村勘九郎さん(現勘三郎)により三島村歌舞伎「俊寛」を上演し、大きな話題を呼びました。翌9年からは、毎年5月に「俊寛祭り」を開催し、薩摩琵琶やジャズサックスの演奏など、様々な関連イベントを行ない、三島村の名と、硫黄島における俊寛の存在を全国にアピールすることに努めてきました。

そして今年 5 月、歌舞伎「俊寛」の原典でもある、能の「俊寛」を硫黄島で上演します。三島村の主催で、国立能楽堂のプロデュースにより実現するはこびとなりました。主役の俊寛は、観世流シテ方の第一人者である梅若玄祥さん(梅若六郎改め)。薪能という、野外でかがり火を焚いて行う形式ですが、今回は、「俊寛の送り火」とされる「柱松」の巨大な松明を用い、岬の岸壁の下にて壮大なスケールで行います。

上演に先立ち、去る 3 月 9 日に鹿児島県庁の記者クラブで記者会見を行ないました。大山辰夫村長の熱のこもった説明に、集まった記者も思わず身を乗り出して聞き入っていました。梅若玄祥さんは、俊寛が暮らした実際の島での上演ということで、特別な感慨があると抱負を語って下さいました。自分がどうなるか、どのような俊寛が立ち現れるのか、恐いくらいだとも。一時間の会見時間を過ぎても記者の質問がとぎれず、関心の高いことに驚かされました。

なお、この模様は国立能楽堂のホームページでも紹介されています。

<http://www.ntj.jac.go.jp/topics/news090318.html>

鑑賞ツアーは

- ① 二泊三日ツアー(鹿児島発着 5/29～5/31 44,000 円／おひとり)
- ② 日帰りツアー(枕崎発着 5/30 19,000 円／おひとり)

の二種類をご用意いたしました。

ツアーに関するお問い合わせ、お申し込みは「近畿日本ツーリスト(株)鹿児島支店 TEL099-223-3205」まで。

催しに関するお問い合わせは「三島村役場 薪能係 099-222-3141」まで。



地元TV局、新聞社で賑わいました



左より 梅若玄祥さん、大山辰夫三島村村長